

令和4年県の施策に関する県民意識調査結果(速報)

1 調査の目的

「いわて県民計画(2019～2028)」に基づいて実施する県の施策について、県民がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか、また、どの程度幸福度を感じているか等を把握し、今後、県が重点的に取り組むべき施策の方向性等を明らかにすることを目的とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内に居住する18歳以上の個人
- (2) 調査対象者数 5,000人
- (3) 抽出方法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
- (4) 調査方法 設問票によるアンケート調査(郵送法)
- (5) 調査時期 令和4年1～2月(毎年調査)
- (6) 調査項目
 - ア 生活全般の満足度
 - イ 「いわて県民計画(2019～2028)」の10の政策分野に関連する57項目に係る重要度、満足度について
 - ウ 幸福度について
 - エ 家事時間及び生活時間について
- (7) 回収者数 3,324人
- (8) 有効回収率 66.5%
- (9) 回答者の属性

【性別】	回答者数	割合
男性	1,439	(43.3)
女性	1,868	(56.2)
その他	3	(0.1)
不明	14	(0.4)

【年齢別】	回答者数	割合
18～19歳	52	(1.6)
20～29歳	192	(5.8)
30～39歳	293	(8.8)
40～49歳	457	(13.7)
50～59歳	525	(15.8)
60～69歳	705	(21.2)
70歳以上	1,005	(30.2)
不明	95	(2.9)

【居住地別】	回答者数	割合
県央広域振興圏	962	(28.9)
県南広域振興圏	1,002	(30.1)
沿岸広域振興圏	801	(24.1)
県北広域振興圏	559	(16.8)

【職業別】	回答者数	割合
自営業主	298	(9.0)
家族従業者	86	(2.6)
会社役員・団体役員	222	(6.7)
常用雇用者	890	(26.8)
臨時雇用者	430	(12.9)
学生	81	(2.4)
専業主婦(主夫)	327	(9.8)
無職	751	(22.6)
その他	100	(3.0)
不明	139	(4.2)

【子どもの数別】	回答者数	割合
1人	450	(13.5)
2人	1,171	(35.2)
3人	631	(19.0)
4人	93	(2.8)
5人以上	39	(1.2)
子どもはいない	735	(22.1)
不明	205	(6.2)

【居住年数別】	回答者数	割合
10年未満	87	(2.6)
10～20年未満	166	(5.0)
20年以上	2,958	(89.0)
不明	113	(3.4)

(注)

小数点第1位未満四捨五入の関係から、内訳の計が100%にならない場合があります。

()内は%

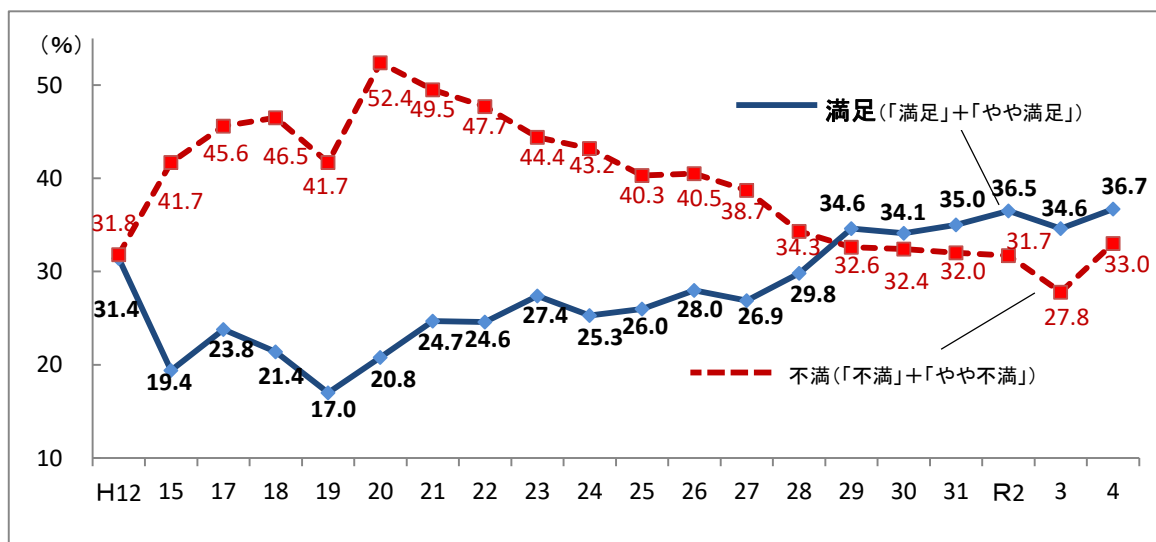
■調査結果の概要■

問1 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

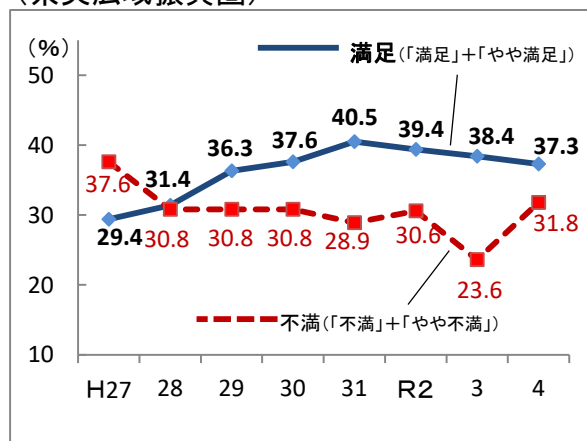
昨年に引続き満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が36.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合は33.0%となっている。
- また、令和3年調査と比較すると、満足の割合は34.6%から2.1ポイント増加し、不満の割合は27.8%から5.2ポイント増加している。
- 広域振興圏別にみると、満足の割合は、県央では減少し、県南、沿岸及び県北では増加している。不満の割合は、全ての広域振興圏で増加している。

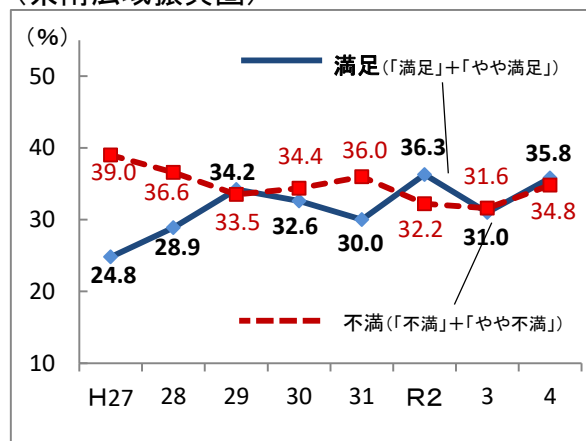
(県計)



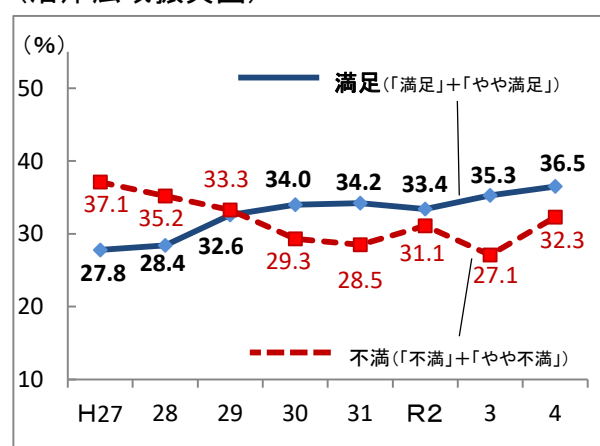
(県央広域振興圏)



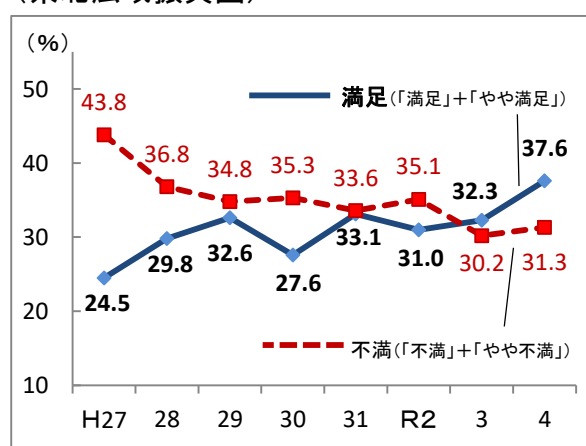
(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



問2 あなたの暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要と考えますか。

あなたの現在の暮らしからみて、調査項目の状態についてどれくらい満足していますか。

【重要度】

- 重要度の高い項目は、「交通事故の少ない社会づくり」、「犯罪への不安の少ない社会づくり」、「感染症に対する備えが整っている社会」となっている。
- 一方、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」などの項目が重要度が低くなっている。

重要度が高い項目

順位	(参考) R3年 順位	10の 政策 分野	番号	項 目
1	2	⑤	31	交通事故の少ない社会づくり
2	3	⑤	30	犯罪への不安の少ない社会づくり
3	1	⑤	34	感染症に対する備えが整っている社会
4	4	①	3	適切な医療体制
5	5	⑨	53	災害に強く安心して暮らせる県土

※ 項目は設問文を要約して記載。

重要度が低い項目

順位	(参考) R3年 順位	10の 政策 分野	番号	項 目
57	57	①	5	日常的に文化芸術に親しむ機会
56	56	⑨	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組
55	55	①	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会
54	53	①	1	身体の健康に関する相談・指導
53	54	④	27	外国人も暮らしやすい社会

【満足度】

- 満足度の高い項目は、「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」、「購入する食品の安全性に不安を感じない社会」、「ごみ減量やリサイクルの定着」となっている。
- 一方、「商店街のにぎわい」、「農林水産業の担い手確保」、「安定した就職環境」などの項目が満足度が低くなっている。

満足度が高い項目

順位	(参考) R3年 順位	10の 政策 分野	番号	項 目
1	3	③	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍
2	1	⑤	33	購入する食品の安全性に不安を感じない社会
3	2	⑧	49	ごみ減量やリサイクルの定着
4	4	①	3	適切な医療体制
5	6	⑦	46	世界遺産を守り将来に伝えていくための取組

満足度が低い項目

順位	(参考) R3年 順位	10の 政策 分野	番号	項 目
57	57	⑥	36	商店街のにぎわい
56	56	⑥	42	農林水産業の担い手確保
55	55	⑥	35	安定した就職環境
54	53	④	24	公共交通機関の維持・確保
53	54	⑥	38	県内経済の活性化

【ニーズ度】

- ニーズ度の高い項目は、「安定した就職環境」、「農林水産業の担い手確保」、「商店街のにぎわい」となっている。
- 一方、「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」などの項目がニーズ度が低くなっている。

ニーズ度が高い項目

順位	(参考) R3年 順位	10の 政策 分野	番号	項 目
1	1	⑥	35	安定した就職環境
2	3	⑥	42	農林水産業の担い手確保
3	5	⑥	36	商店街のにぎわい
4	4	③	17	いじめや不登校への適切な対処
5	6	④	23	生活基盤整備などが進んだ生活環境

ニーズ度が低い項目

順位	(参考) R3年 順位	10の 政策 分野	番号	項 目
57	53	③	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍
56	57	①	5	日常的に文化芸術に親しむ機会
55	56	①	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会
54	55	①	1	身体の健康に関する相談・指導
53	54	⑨	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組

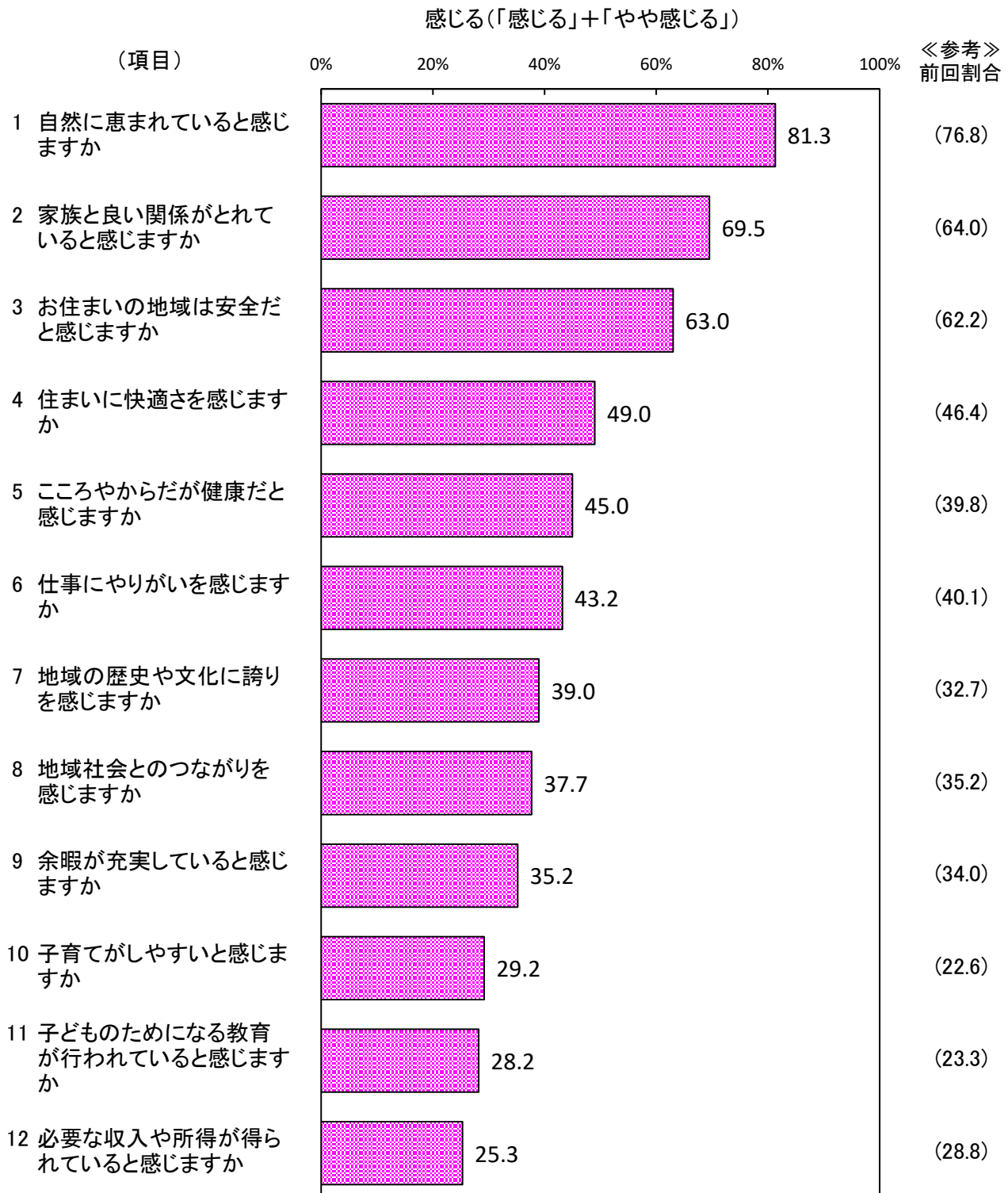
10の政策分野

- ①「健康・余暇」、②「家族・子育て」、③「教育」、④「居住環境・コミュニティ」、⑤「安全」、⑥「仕事・収入」、⑦「歴史・文化」、⑧「自然環境」、⑨「社会基盤」、⑩「参画」

問3 県では、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向けてさまざまな取組を推進しています。希望郷いわての実現のため、あなたの「幸福」に関する行動や考え方等について伺います。

問3-1 現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

○「感じる」(「感じる」+「やや感じる」)の割合が高いのは、「自然に恵まれていると感じますか」の81.3%、「家族と良い関係がとれていると感じますか」の69.5%、「お住まいの地域は安全だと感じますか」の63.0%となっている。

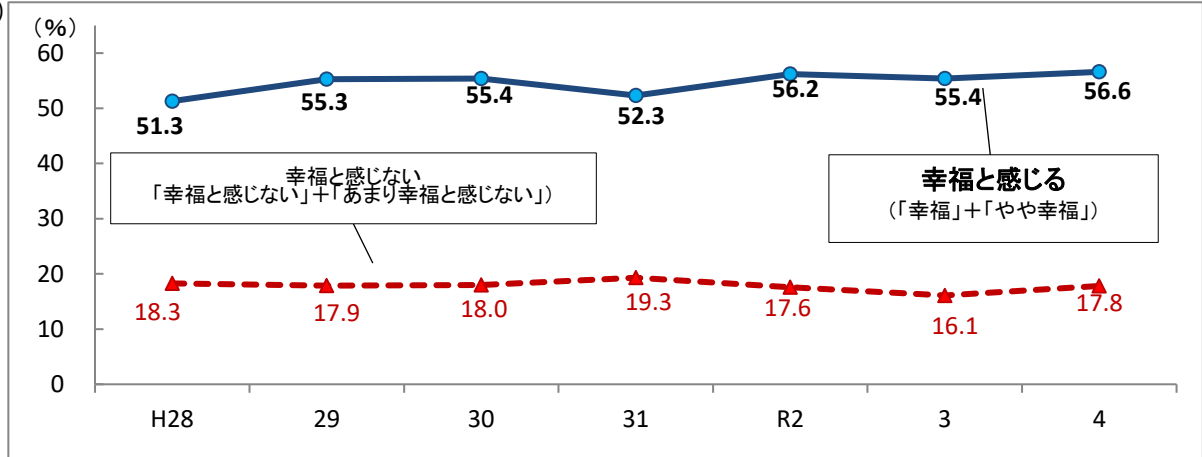


問3-2 あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

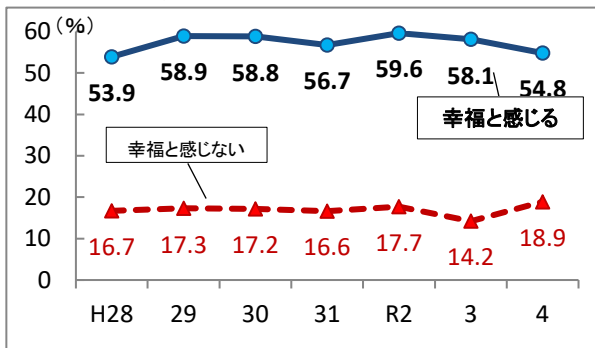
幸福と感じる割合が約57%(56.6%)、全ての広域振興圏で50%以上

- 県計では、幸福の割合は56.6%となっており、前回と比較すると1.2ポイント増加している。
- 広域振興圏別に前回と比較すると、幸福と感じる割合は県央で減少し、県南、沿岸、県北では増加している。幸福と感じない割合は、県央及び沿岸で増加し、県南及び県北で減少している。

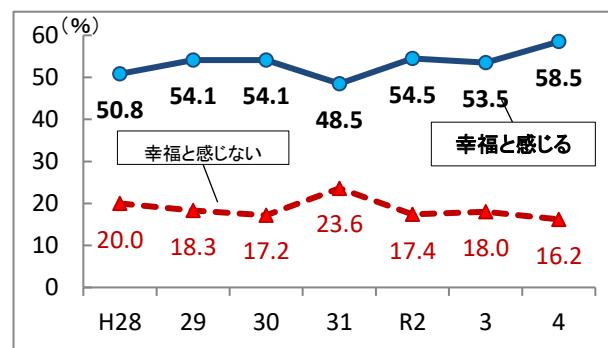
(県計)



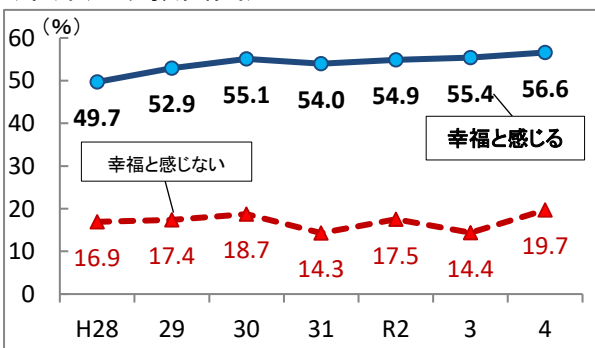
(県央広域振興圏)



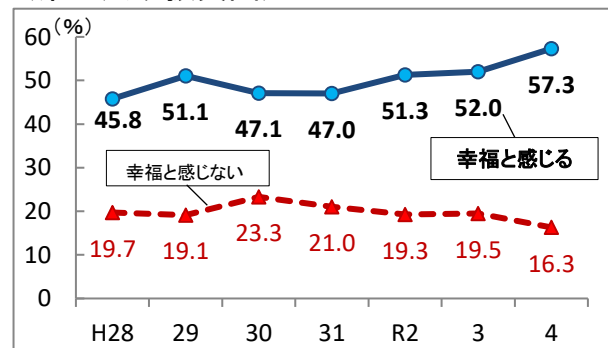
(県南広域振興圏)



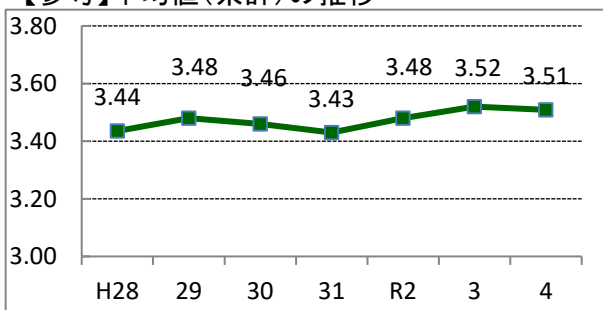
(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



【参考】平均値(県計)の推移



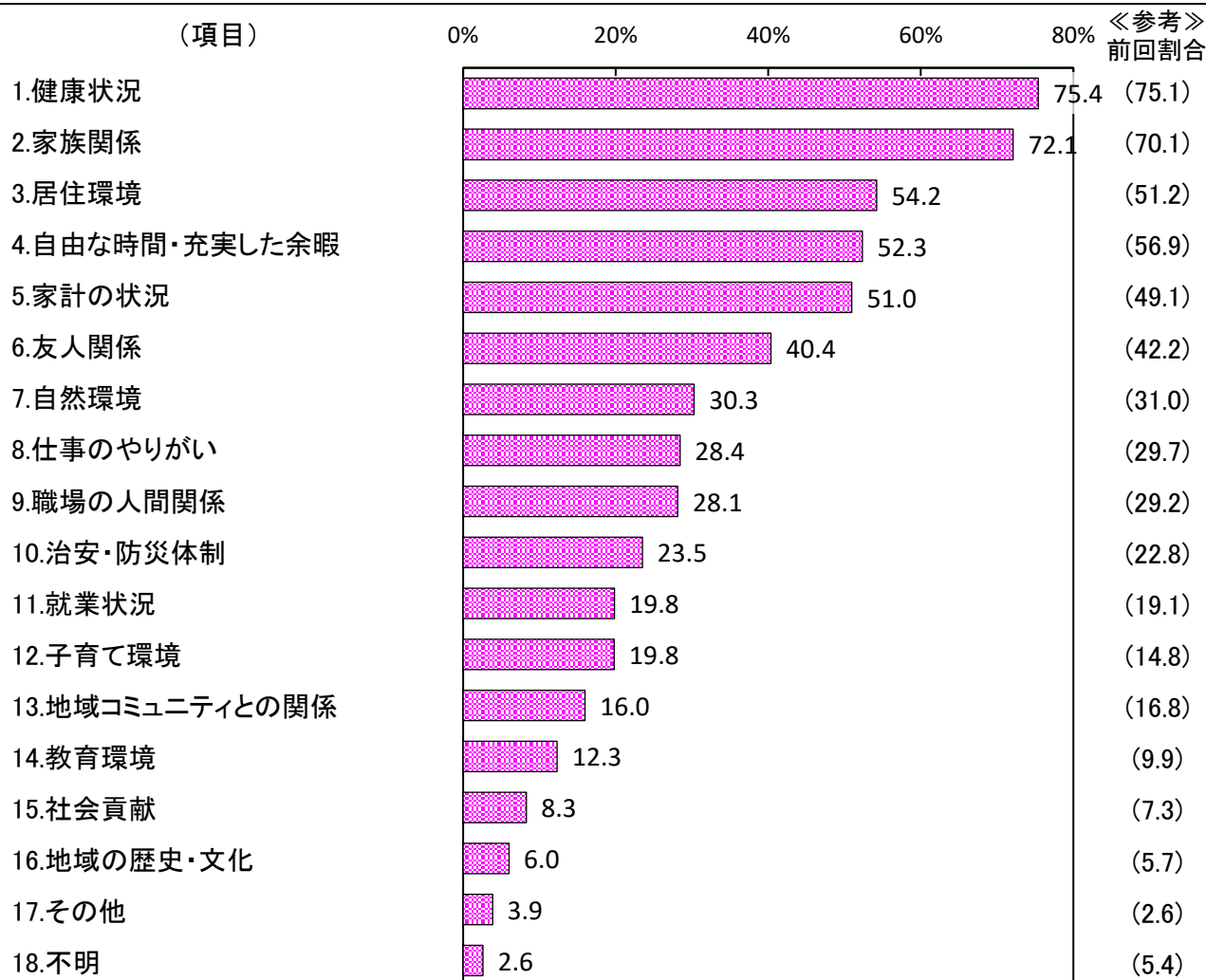
・平均値について

岩手県総合計画審議会「県民の幸福感に関する分析部会」で活用している主観的幸福感の平均値のこと。

「幸福だと感じる」から「幸福だと感じない」までの5段階の選択肢に応じて5点から1点を配点すると、県全体の平均値は5点満点中3.51点となりました。

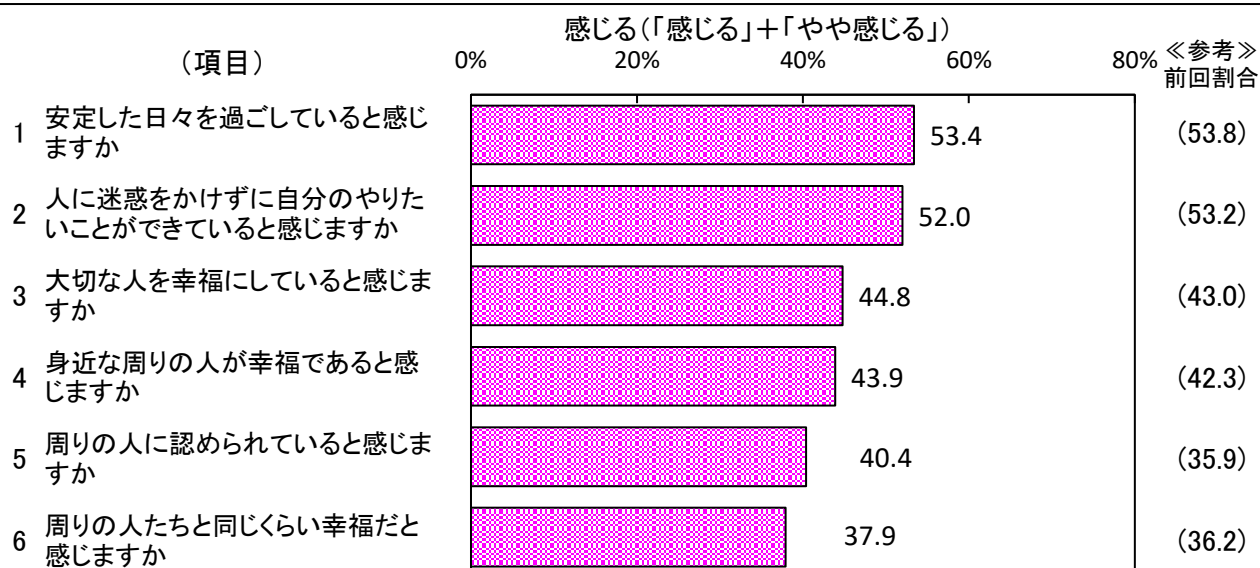
問3－3 あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。

- 幸福かどうか判断する際に重視すると回答した人の割合が高いのは、「健康状況」の75.4%、「家族関係」の72.1%となっている。



問3－4 身近な周りの人の幸福等について、あなたの実感をおたずねします。

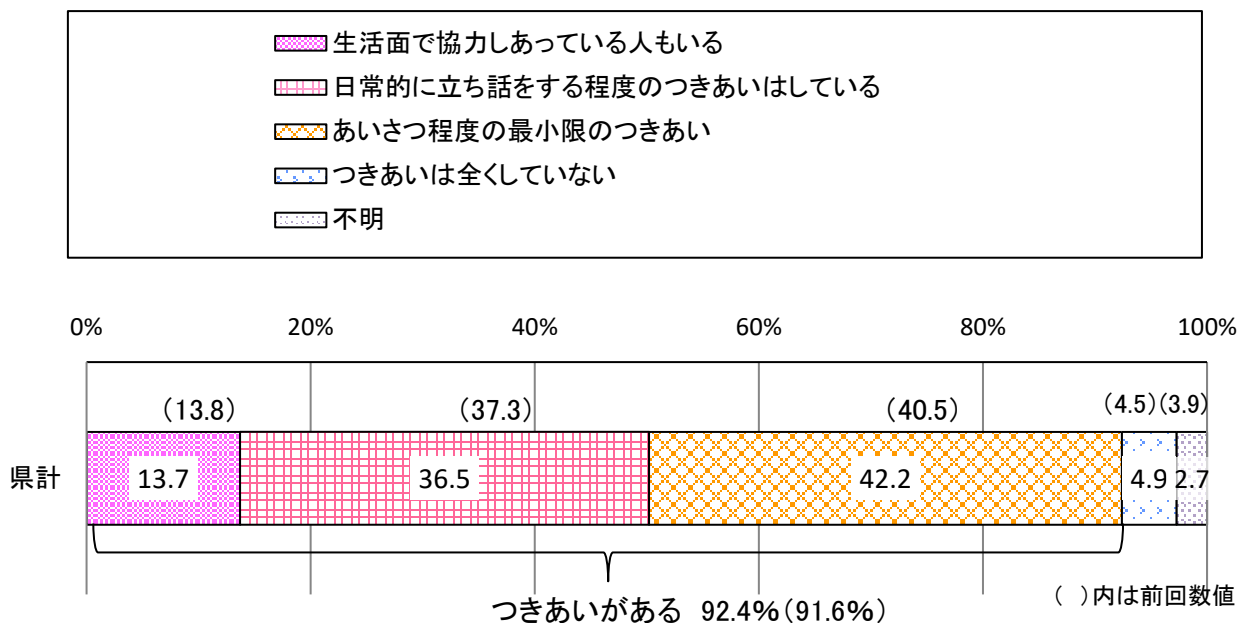
- 「感じる」(「感じる」+「やや感じる」)の割合が高いのは、「安定した日々を過ごしていると感じますか」の53.4%、「人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができていますと感じますか」の52.0%となっている。



問4 県では、幸福に関連する項目として、「つきあい・交流」、「信頼」、「社会参加」といった「つながり」に注目しており、ここからはあなたの「つながり」に関する行動や考え方等について伺います。

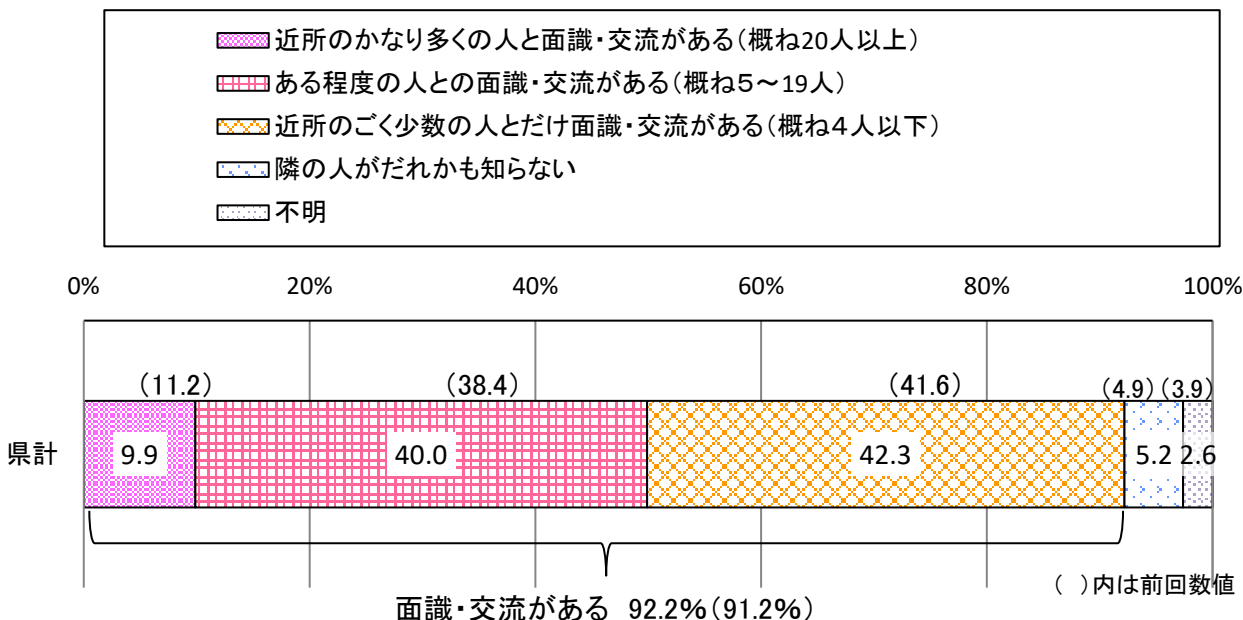
問4-1 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。

- ご近所づきあいがある（「生活面での協力」、「立ち話程度のつきあい」、「あいさつ程度のつきあい」）と回答した人の割合は、92.4%となっている。
- 一方、「つきあいは全くしていない」は4.9%となっている。



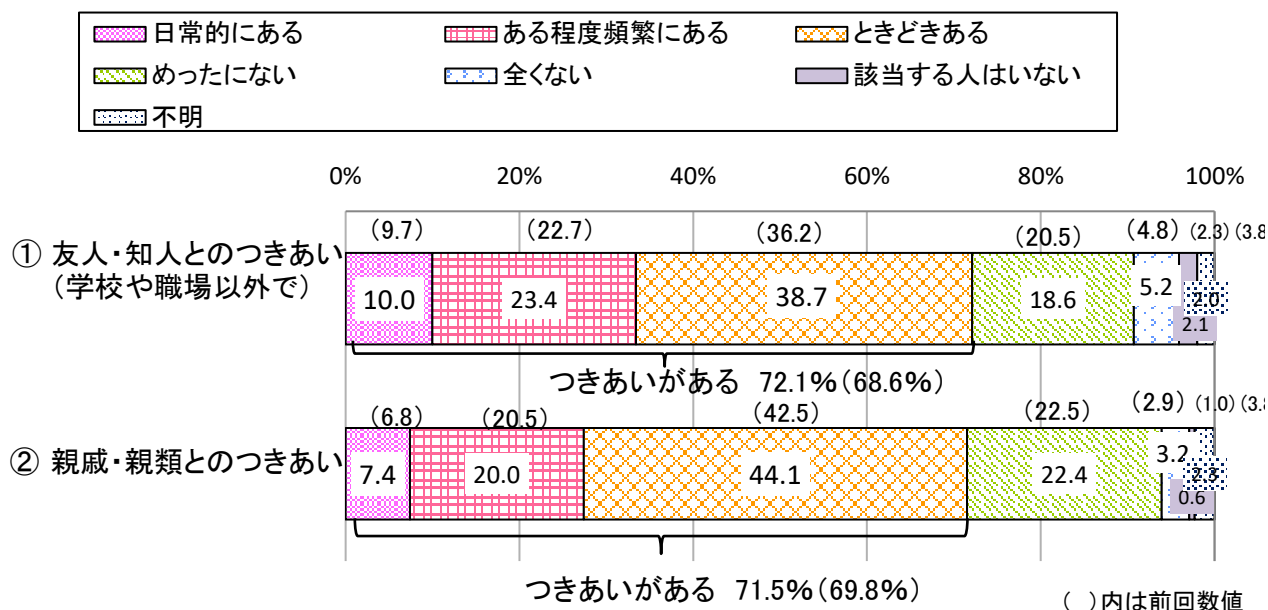
問4-2 つきあっているご近所の方の数は、どのくらいですか。

- 面識・交流がある（「近所のかなり多くの人」、「ある程度の人」、「近所のごく少数の人とだけ」）と回答した人の割合は、92.2%となっている。
- 一方、「隣の人がだれかも知らない」は5.2%となっている。



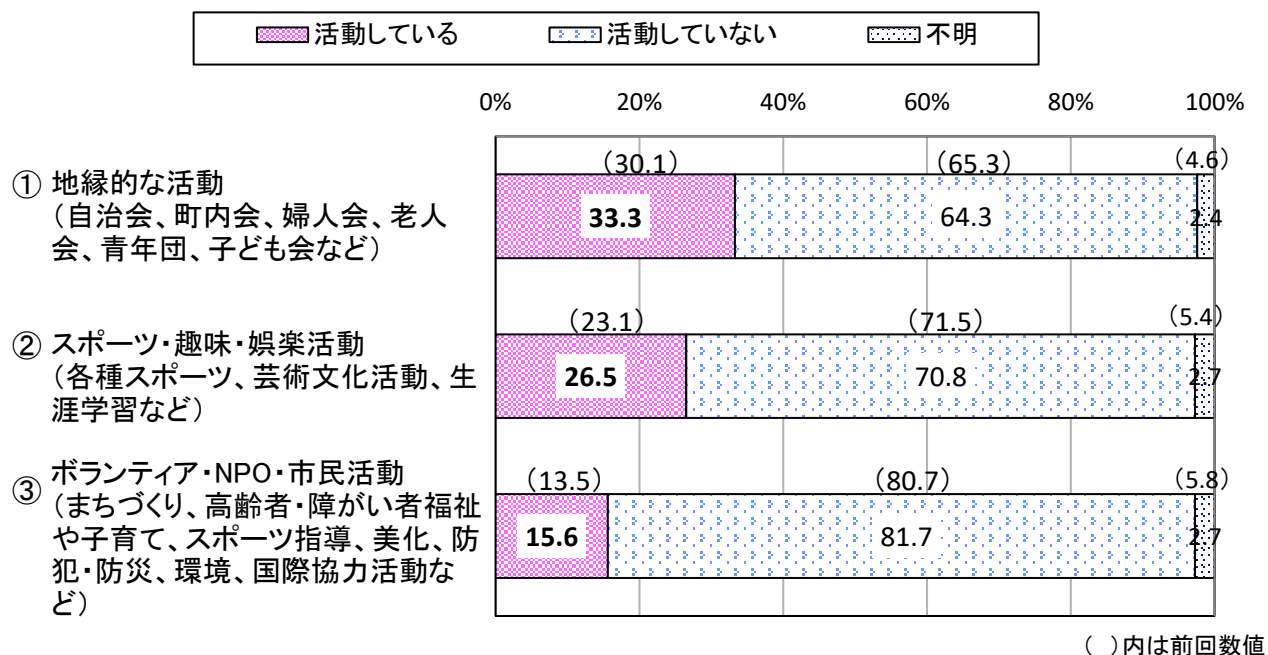
問4-3 あなたは、①友人・知人、②親戚・親類とどのようなおつきあいをされていますか。

- 友人・知人等とのつきあいがある(「日常的にある」、「ある程度頻繁にある」、「ときどきある」と回答した人の割合は、「友人・知人」では72.1%、「親戚・親類」では71.5%となっている。
- 最も割合の高いつきあいの程度は、「友人・知人」、「親戚・親類」とともに「ときどきある」で、「友人・知人」が38.7%、「親戚・親類」が44.1%となっている。



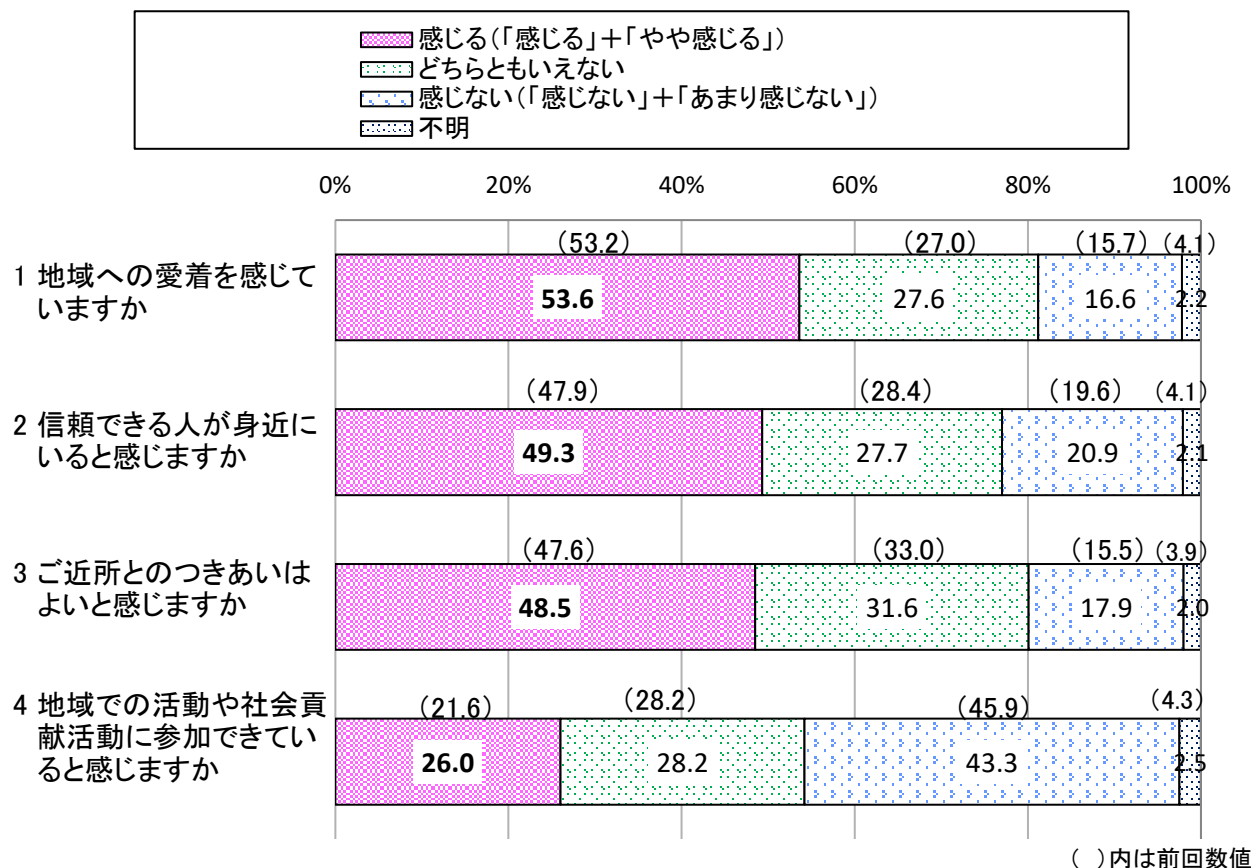
問4-4 あなたは現在、①地縁的な活動、②スポーツ・趣味・娯楽活動、③ボランティア・NPO・市民活動をされていますか。

- 地縁的な活動をしている人は33.3%、スポーツ・趣味・娯楽活動をしている人は26.5%、ボランティア・NPO・市民活動をしている人は15.6%となっている。



問4ー5 あなたのお住まいの地域(小・中学校区から市町村の範囲)に対する実感をおたずねします。

- 地域への実感は、割合の高い順に、「地域への愛着を感じていますか」は53.6%、「信頼できる人が身近にいますか」は49.3%、「ご近所とのつきあいはよいと感じますか」は48.5%、「地域での活動や社会貢献活動に参加できていると感じますか」は26.0%となっている。

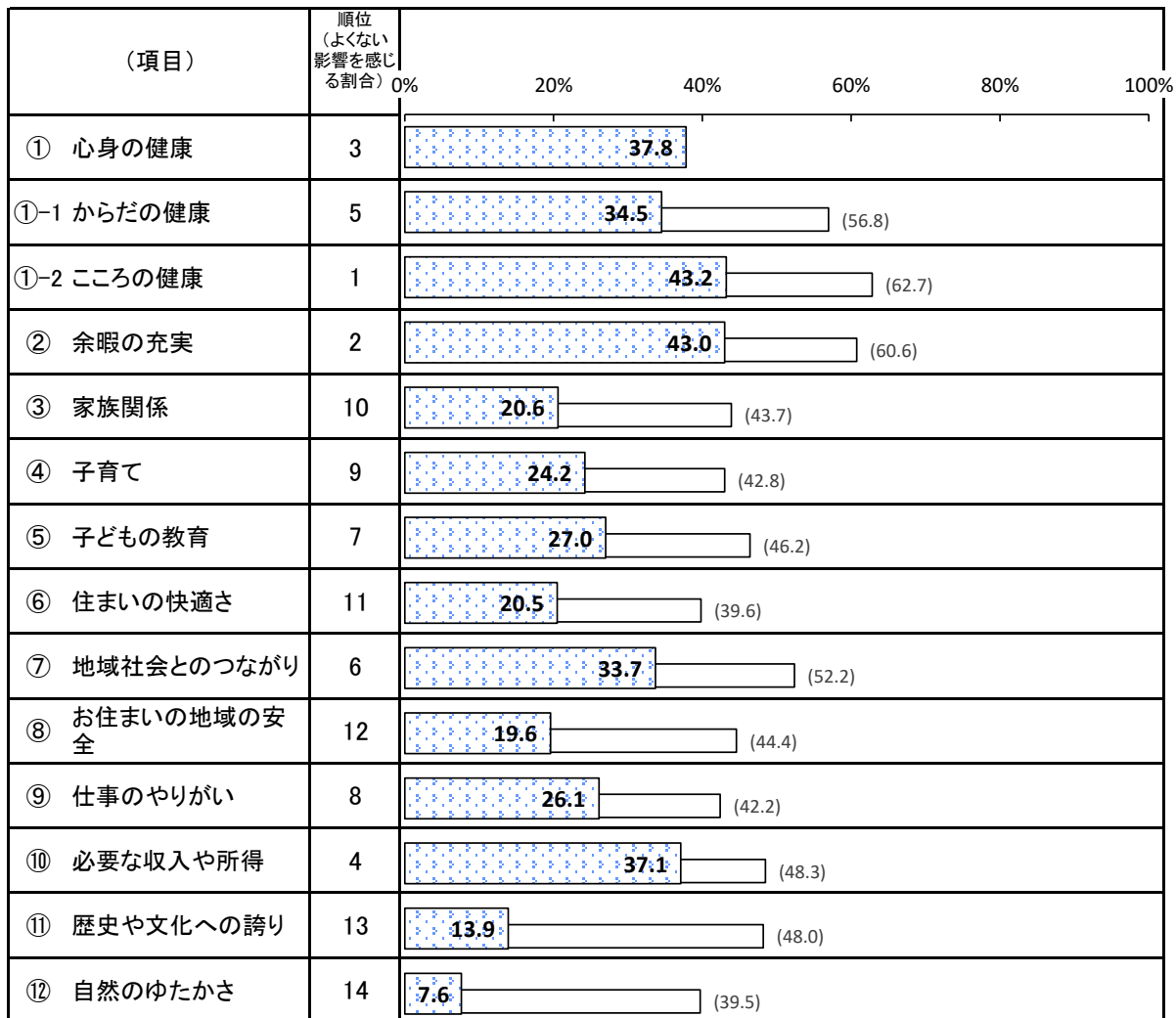


問5 問3-1で回答した実感に係る新型コロナウイルス感染症のあなたへの影響について
最も近いものを1つ選んでください。

- 分野別実感について、よくない影響を感じる(「よくない影響を感じる」+「あまりよくない影響を感じる」)割合が高いのは、「こころの健康への影響」の43.2%、「余暇の充実への影響」の43.0%、「心身の健康への影響」の37.8%となっている。

よくない影響を感じる割合
(「よくない影響を感じる」+「あまりよくない影響を感じる」)

R4年結果
(参考) R3年結果



※問5は、新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の変化に伴う、政策分野に関連する実感(分野別実感)への影響を把握するため、前回調査(令和3年調査)から設けた設問です。

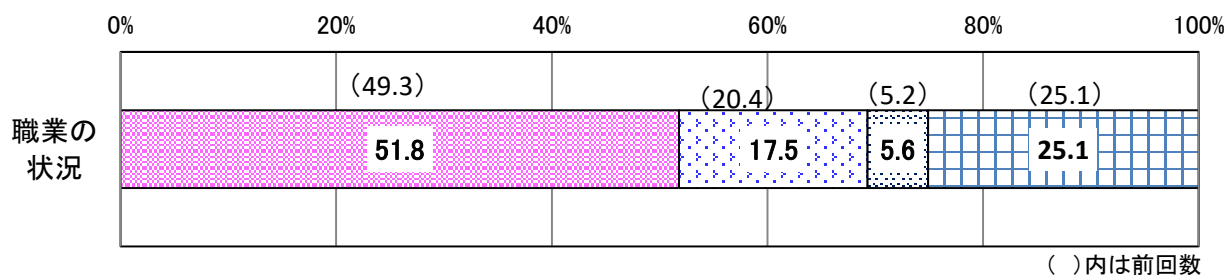
分野別実感は、①心身の健康、②余暇の充実、③家族関係、④子育て、⑤子どもの教育、⑥住まいの快適さ、⑦地域社会とのつながり、⑧地域の安全、⑨仕事のやりがい、⑩必要な収入や所得、⑪歴史・文化への誇り、⑫自然の豊かさに対する実感であり、①については、前回調査では、“からだの健康”及び“こころの健康”に分けて調査しましたが、今回調査では、“心身の健康”、“からだの健康”及び“こころの健康”に分けて調査しています。そのため、“心身の健康”のR3年結果はありません。

問6 家事関連時間及び生活時間について

【(1)、(2)は夫婦世帯の方のみ回答】

(1) お二人とも職業をお持ちですか。

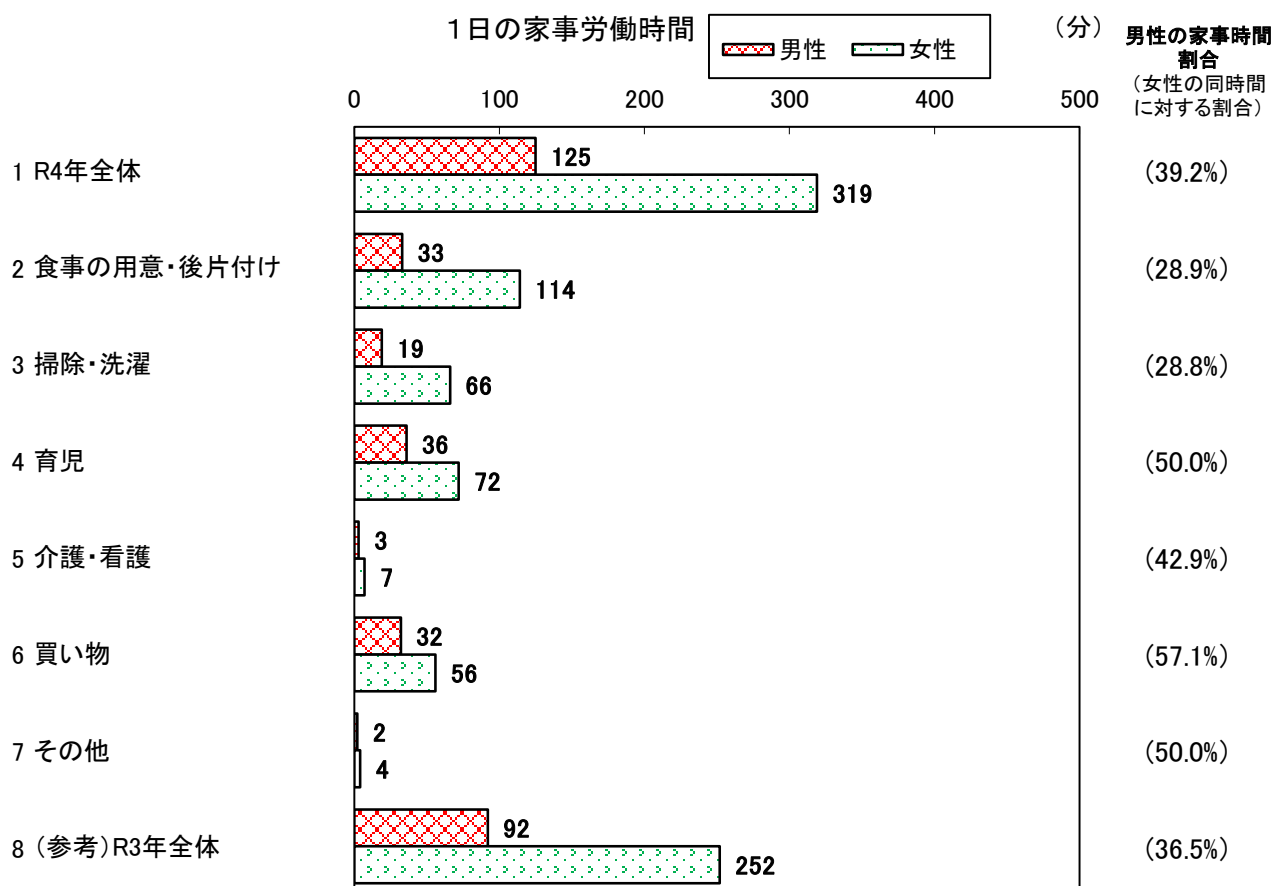
○ 夫婦二人とも仕事を持っている世帯の割合は51.8%となっている。



(2) あなたとあなたの夫(妻)は、普段、どれぐらい家事を行っていますか。

【夫婦二人とも仕事を持っている世帯】

○ 共働き世帯の「夫」の家事労働時間は125分、「妻」の家事労働時間は319分となっており、「夫」の家事労働時間は「妻」の39.2%となっている。

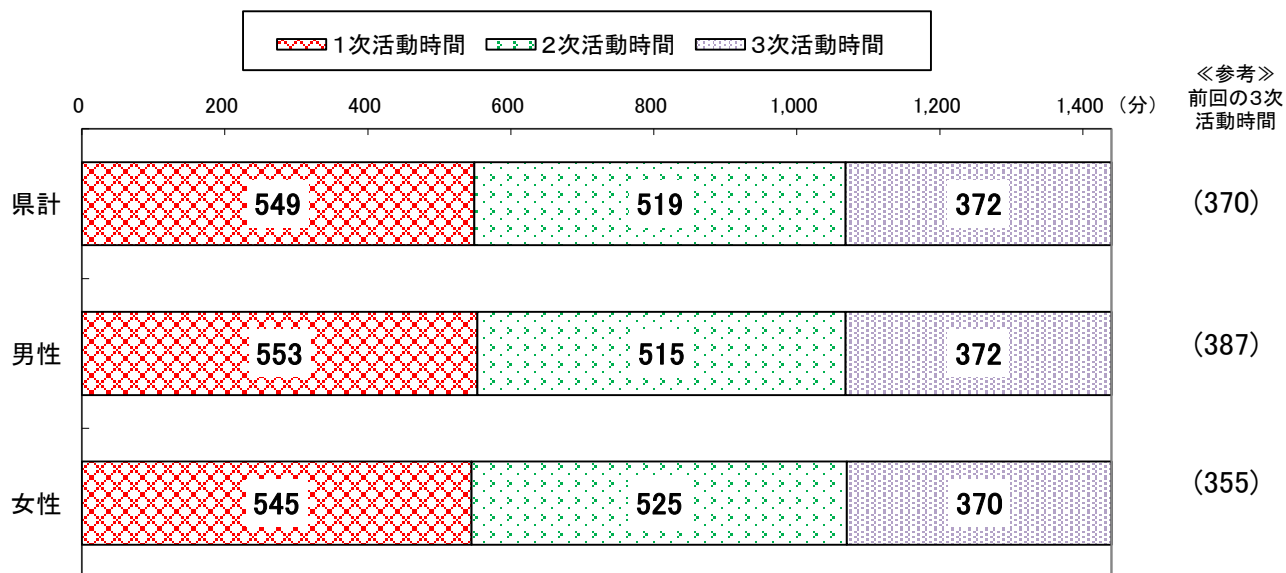


(3) あなたは、普段の生活で、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。

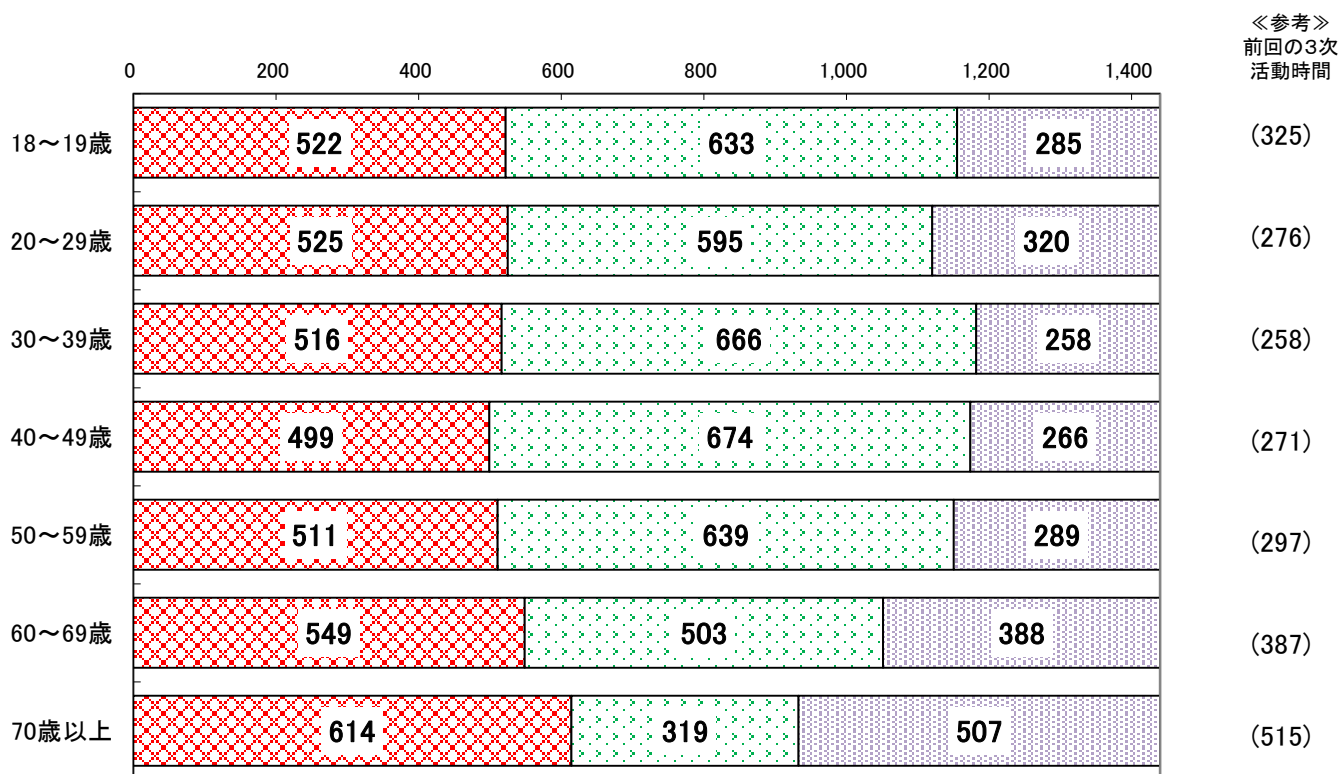
○ 1日当たりの行動の内容は、1次活動時間が549分(9時間9分)、2次活動時間が519分(8時間39分)、3次活動時間が372分(6時間12分)となっている。

1次活動: 睡眠、食事など生理的に必要な活動
2次活動: 仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
3次活動: 1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

ア 県計及び男女別



イ 年代別



(参考1)問2の各調査項目一覧(重要度、満足度、ニーズ度得点)

10の政策分野	No.	項目	重要度	順位	満足度	順位	ニーズ度	順位
①健康・余暇 (○)	1	身体の健康に関する相談・指導	3.711	54	3.214	10	0.497	54
	2	心の健康に関する相談・支援	3.781	51	3.089	20	0.692	51
	3	適切な医療体制	4.668	4	3.366	4	1.301	27
	4	住み慣れた地域で生活できる環境	4.451	20	2.996	31	1.455	19
	5	日常的に文化芸術に親しむ機会	3.338	57	2.943	38	0.395	56
	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会	3.460	55	2.983	35	0.477	55
	7	自分に適した内容や方法で学べる環境	3.908	48	2.943	39	0.965	44
②家族・子育て (●)	8	安心な子育て環境整備	4.467	17	2.991	32	1.476	17
	9	子どもの育ちと学びに関する学校、家庭、地域の連携	4.346	27	3.148	16	1.198	32
	10	地域全体での青少年の健全育成	4.135	36	3.086	22	1.050	40
	11	仕事と生活を両立できる環境	4.499	15	2.891	42	1.608	9
	12	ペットなど動物のいのちを大切にできる社会	4.102	41	3.169	15	0.933	45
③教育 (△)	13	子どもの学力向上に向けた教育	4.425	22	3.042	27	1.383	23
	14	人間性豊かな子どもの育成	4.602	7	3.114	19	1.489	16
	15	子どもの体力向上や心身の健康保持	4.420	23	3.196	12	1.224	30
	16	全ての子どもが学べる環境	4.457	18	3.054	24	1.403	20
	17	いじめや不登校への適切な対応	4.626	6	2.746	50	1.880	4
	18	子どもが安全・安心に学ぶことができる環境	4.596	9	3.207	11	1.389	22
	19	特色ある私学教育の充実	3.804	50	3.049	26	0.755	50
	20	次世代を担う人材育成	4.311	29	2.973	36	1.338	25
	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍	4.051	43	3.669	1	0.382	57
	22	大学の地域社会貢献	4.198	35	3.143	17	1.055	39
④居住環境・コミュニティ (▲)	23	生活基盤整備などが進んだ生活環境	4.516	14	2.647	52	1.869	5
	24	公共交通機関の維持・確保	4.409	25	2.575	54	1.834	6
	25	つながりや活力を感じられる地域コミュニティ	3.954	46	2.984	34	0.970	43
	26	移住・定住を増やすための取組	3.937	47	2.783	49	1.155	37
	27	外国人も暮らしやすい社会	3.715	53	2.888	43	0.827	48
	28	文化芸術・スポーツを生かした地域づくり	3.770	52	2.988	33	0.782	49
⑤安全 (◇)	29	地域の協力による防災体制づくり	4.417	24	3.260	7	1.157	36
	30	犯罪への不安の少ない社会づくり	4.712	2	3.241	8	1.471	18
	31	交通事故の少ない社会づくり	4.725	1	3.173	14	1.552	13
	32	消費者トラブルへの適切な相談や支援	4.600	8	3.052	25	1.548	14
	33	購入する食品の安全性に不安を感じない環境	4.570	11	3.410	2	1.160	35
	34	感染症に対する備えが整っている社会	4.709	3	3.071	23	1.637	8
⑥仕事・収入 (◆)	35	安定した就職環境	4.537	12	2.513	55	2.024	1
	36	商店街のにぎわい	4.266	31	2.370	57	1.896	3
	37	中小企業の成長・発展	4.220	33	2.667	51	1.553	12
	38	県内経済の活性化	4.301	30	2.644	53	1.657	7
	39	地域資源を活用した製品開発・販売	4.207	34	3.016	30	1.191	33
	40	海外での県産品の販路拡大	3.875	49	2.880	44	0.995	41
	41	魅力ある観光地づくり	4.106	40	2.806	47	1.300	28
	42	農林水産業の担い手確保	4.326	28	2.429	56	1.897	2
	43	ニーズにあった農林水産物の産地形成	4.125	37	2.922	40	1.203	31
	44	農林水産物の販路拡大	4.232	32	2.946	37	1.286	29
⑦歴史・文化 (□)	45	活力ある農山漁村の形成	4.122	38	2.813	46	1.309	26
	46	世界遺産を守り将来に伝えていくための取組	3.981	44	3.335	5	0.646	52
⑧自然環境 (■)	47	郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境	4.059	42	3.179	13	0.880	47
	48	自然環境を大切に生活	4.579	10	3.240	9	1.339	24
	49	ごみ減量やリサイクルの定着	4.520	13	3.402	3	1.119	38
⑨社会基盤 (*)	50	温暖化防止の取組	4.455	19	2.917	41	1.538	15
	51	ILCなどの環境整備や新たな産業振興への取組	3.457	56	2.855	45	0.603	53
	52	情報通信技術の活用	4.112	39	3.128	18	0.984	42
	53	災害に強く安心して暮らせる県土	4.658	5	3.088	21	1.569	10
	54	交通や物流の拠点に通じる道路整備	4.472	16	3.283	6	1.189	34
⑩参画 (+)	55	社会資本の維持管理	4.426	21	3.033	29	1.393	21
	56	個性と能力を発揮できる社会の実現	4.361	26	2.799	48	1.562	11
	57	市民活動や県民活動に参加しやすい社会	3.964	45	3.041	28	0.923	46
平均			4.241		3.007		1.235	

注)重要度(平均)、満足度(平均)は、時系列で平均の差を検定していくため、標本平均を採用しています。

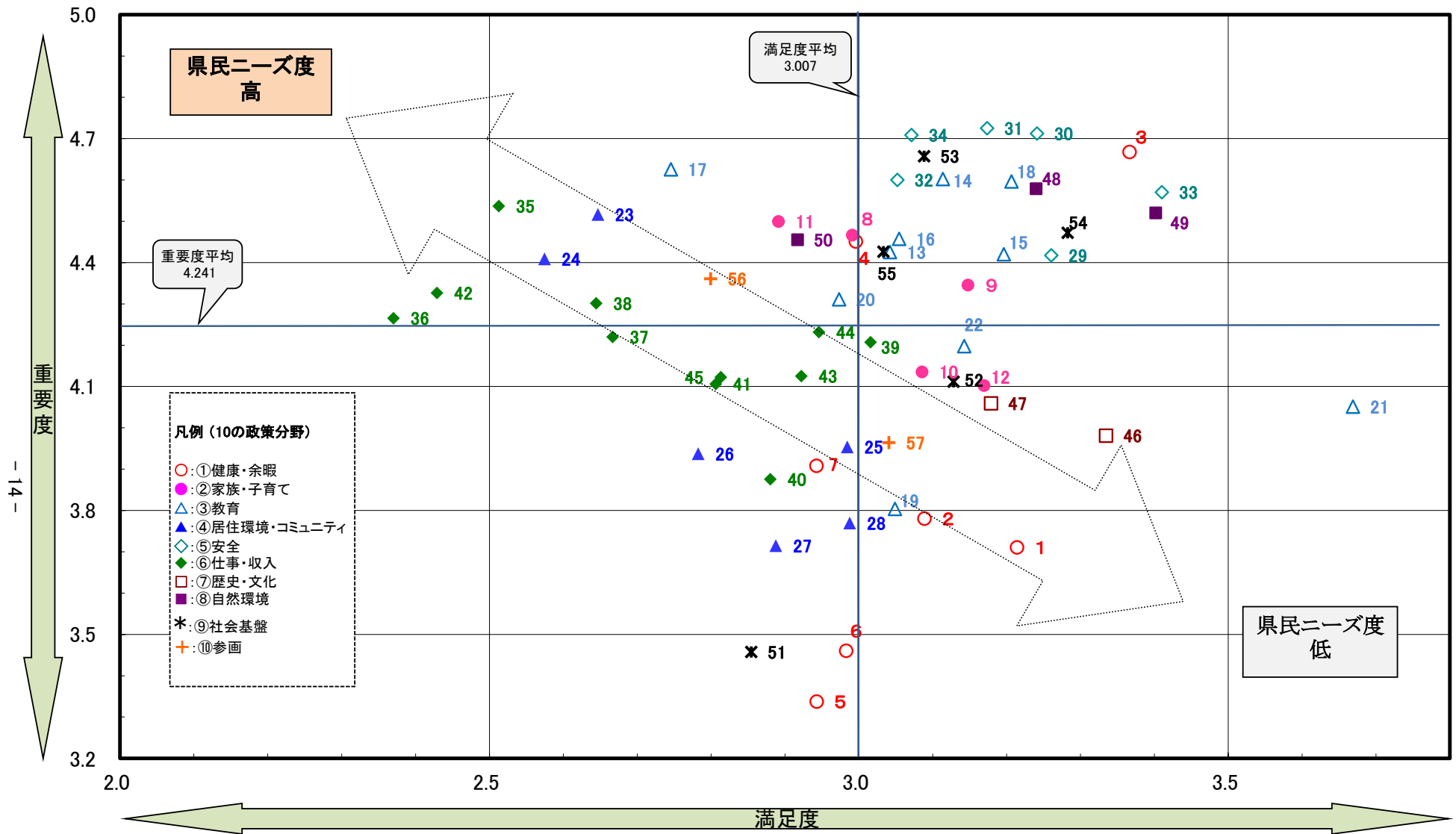
〔用語の説明〕

重要度(平均):「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

満足度(平均):「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

ニーズ度: 重要度(平均)－満足度(平均)
(重要度が高く、住民の満足度が低い状態を(行政)ニーズが高いと読む)

(参考2) 問2の項目別の重要度と満足度の関係



※1 ー は各項目の平均値(重要度:4.241、満足度:3.007)

※2 上の図内の番号は、前頁の表の調査項目番号と一致。

(参考3)問2の各調査項目のニーズ度の高い順

No.	項目名	ニーズ度(=重要度-満足度)			(参考)	上段:重要度 下段:満足度				
		0	1	2		0	1	2	3	4
35	安定した就職環境			2.024					2.513	4.537
42	農林水産業の担い手確保			1.897					2.429	4.326
36	商店街のにぎわい			1.896					2.370	4.266
17	いじめや不登校への適切な対処			1.880					2.746	4.626
23	生活基盤整備などが進んだ生活環境			1.869					2.647	4.516
24	公共交通機関の維持・確保			1.834					2.575	4.409
38	県内経済の活性化			1.657					2.644	4.301
34	感染症に対する備えが整っている社会			1.637					3.071	4.709
11	仕事と生活を両立できる環境			1.608					2.891	4.499
53	災害に強く安心して暮らせる県土			1.569					3.088	4.658
56	個性と能力を發揮できる社会の実現			1.562					2.795	4.361
37	中小企業の成長・発展			1.553					2.667	4.220
31	交通事故の少ない社会づくり			1.552					3.173	4.725
32	消費者トラブルへの適切な相談や支援			1.548					3.052	4.600
50	温暖化防止の取組			1.538					2.917	4.455
14	人間性豊かな子どもの育成			1.489					3.114	4.602
8	安心な子育て環境整備			1.476					2.991	4.467
30	犯罪への不安の少ない社会づくり			1.471					3.241	4.712
4	住み慣れた地域で生活できる環境			1.455					2.996	4.451
16	全ての子どもが学べる環境			1.403					3.054	4.457
55	社会資本の維持管理			1.393					3.033	4.426
18	子どもが安全・安心に学ぶことができる環境			1.389					3.207	4.596
13	子どもの学力向上に向けた教育			1.383					3.042	4.425
48	自然環境を大切にした生活			1.339					3.240	4.579
20	次世代を担う人材育成			1.338					2.973	4.311
45	活力ある農山漁村の形成			1.309					2.813	4.122
3	適切な医療体制			1.301					3.366	4.668
41	魅力ある観光地づくり			1.300					2.806	4.106
44	農林水産物の販路拡大			1.286					2.946	4.232
15	子どもの体力向上や心身の健康保持			1.224					3.196	4.420
43	ニーズにあった農林水産物の産地形成			1.203					2.922	4.125
9	子どもの育ちと学びに関する学校、家庭、地域の連携			1.198					3.148	4.346
39	地域資源を活用した製品開発・販売			1.191					3.016	4.207
54	交通や物流の拠点に通じる道路整備			1.189					3.283	4.472
33	購入する食品の安全性に不安を感じない環境			1.160					3.410	4.570
29	地域の協力による防災体制づくり			1.157					3.260	4.417
26	移住・定住を増やすための取組			1.155					2.783	3.937
49	ごみ減量やリサイクルの定着			1.119					3.402	4.520
22	大学の地域社会貢献			1.055					3.143	4.198
10	地域全体での青少年の健全育成			1.050					3.086	4.135
40	海外での県産品の販路拡大			0.995					2.880	3.875
52	情報通信技術の活用			0.984					3.128	4.112
25	つながりや活力を感じられる地域コミュニティ			0.970					2.984	3.954
7	自分に適した内容や方法で学べる環境			0.965					2.943	3.908
12	ペットなど動物のいのちを大切にする社会			0.933					3.169	4.102
57	市民活動や県民活動に参加しやすい社会			0.923					3.041	3.964
47	郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境			0.880					3.179	4.059
27	外国人も暮らしやすい社会			0.827					2.888	3.715
28	文化芸術・スポーツを生かした地域づくり			0.782					2.988	3.770
19	特色ある私学教育の充実			0.755					3.049	3.804
2	心の健康に関する相談・支援			0.692					3.089	3.781
46	世界遺産を守り将来に伝えていくための取組			0.646					3.335	3.981
51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組			0.603					2.855	3.457
1	身体の健康に関する相談・指導			0.497					3.214	3.711
6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会			0.477					2.983	3.460
5	日常的に文化芸術に親しむ機会			0.395					3.338	3.669
21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍			0.382					2.943	4.051